

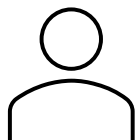
4月11日より、今年度の帰国生徒学習会が始まりました。新入生や編入生を迎えて、今年度の活動も順調にスタートしています。今回の「つながり」第2号は、新入生・編入生の紹介です。滞在していた国、附属中学校で頑張りたいことなどを教えてもらいました。ぜひ、ご一読ください。



新入生・編入生よろしくお願いします。

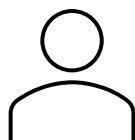


## 帰国学習生徒 (イギリス)



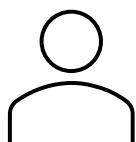
私はアメリカで生まれ、オーストラリア、イギリスとほとんど海外で過ごしていました。附属中では今までの経験を生かしつつ、楽しい思い出を作っていきたいと思います。

## 帰国学習生徒 (タイ)



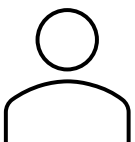
タイのバンコクから来ました。日本での生活の仕方と友達との関わり方、行事など初めてのことが多いので、それに慣れることを頑張りたいです。

## 帰国学習生徒 (シンガポール)



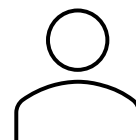
シンガポールで学んだことを生かして、スポーツも勉強も文武両道に頑張っていきたいです。また、附属中みなさんといろいろなことを学び合って、楽しい学校生活を送りたいです。

## 帰国学習生徒 (イギリス)



イギリスから帰ってきてまだ半年なので、分からないことがいっぱいあるけれど、温かい目で見守ってくれると嬉しいです。

## 帰国学習生徒 (ドイツ)



ドイツに約5年間住んでいました。日本の学校にまだ慣れない部分もあるので色々教えてもらえると嬉しいです。よろしくおねがいします。



～保護者の方より～

### ミュンヘンに咲いた「白バラ抵抗運動」

私たちが住んでいたミュンヘンでは、ミュンヘン大学の学生による「白バラ抵抗運動」と呼ばれる、反ナチス抵抗運動が行われました。中心人物はハンス・ショルと妹のソフィー。二人を中心とする学生グループは、1942年から43年にかけて、誰にでも読める平易なドイツ語で、ナチスの手から自由と平等を取り戻そうという強いメッセージをビラにし、それらは郵送や配布でドイツ全土に渡りました。彼らの伝記映画の中で、最後の6回目のビラがミュンヘン大学構内の吹き抜けからソフィーによってばらまかれるシーンがありますが、息をのむような緊迫感が漂う圧巻のシーンです。その直後、ハンスとソフィーを含む中心メンバーが逮捕され、誰からも弁護もなく全員が断頭台へ送られました。現在、ショル兄弟の名の付く学校や広場がドイツの至る所に設立され、二人はドイツの良心の象徴として生き続けています。ドイツの自由は、大戦中に若い学生たちの勇気によってしっかりと守られました。ぜひ、白バラ抵抗運動について調べてみてください。

帰国学習生徒保護者

### さくらんぼの名産地 大連

大連はさくらんぼの名産地として有名です。日本のデパートでも、宝石箱に敷き詰められたようなキラキラした山形県産などのさくらんぼは、高いものだで一箱1万円～なんて値段で売られていますよね。黄色い粒の月山錦という珍しい品種は、中国の大連で生まれ、その後日本で流通したものです。大連の中心地から2時間くらい車で走った旅順という地域では、さくらんぼ狩りが盛んに行われています。中国全土から、さくらんぼを食べに来る旅行者もたくさんいます。大連のさくらんぼは粒が大きく、実ががっちりしていて甘みがとても強いです。日本のスーパーで売られている佐藤錦が、小ぶりで甘みの少ないさくらんぼに感じられてしまうほどです。今年も大連のさくらんぼが恋しい時期になりました。

帰国学習生徒保護者